

公益社団法人日本発達障害連盟

2023（令和5）年度 事業計画

公益事業

ア、開発途上国支援事業

ア-1 情報提供事業

アジア知的障害連盟加盟国と障害福祉の現状についての情報交換のできるビデオの作成をし、配信する。また、この情報交換の内容を JLNEWS などに掲載し、アジア諸国の障害福祉の現状をシリーズとして掲載していく。

ア-2 開発途上国で実施する事業

アジア知的障害連盟に加盟する国等と連携し、開発途上国の非営利団体活動支援のために人材派遣等を行う。

イ、国際交流事業

イ-1 アジアおよびその他地域の関係者との連携強化

2023年11月27日から3泊4日マカオで開催するアジア知的障害者会議へ会長と国際委員1名が参加。また、参加者を募集するツアーの企画、大会当日の発表者の補助を行う。

ウ、日本国内の発達障害者の生活向上と社会統合をめざす事業

ウ-1 発達障害福祉月間の実施

内閣府主催の12月に実施される障害者週間セミナーへエントリーするとともに、構成団体と協力し、動画ビデオを作成配信し、全国の関係機関へ啓発事業の実施を呼びかける。

ウ-2 情報提供事業

-1 発達障害白書の2024年版の編集、発達障害分野の書籍・DVDの頒布。

-2 JLNEWSの発行、ホームページ等での情報発信。

国内外の情報を提供することを目的として、隔月（147—150号）および号外1号を発行し、関係団体（者）に配布する。テーマは、医療、教育、福祉、法改正、国際協力等。A4版12ページ。5月8,000部配布/号、8、11、2月500部配布/号、号外号10,000部配布。また、ホームページをリニューアルし、内容を充実させ、構成団体の研修等の情報も掲載し、様々な情報提供に努めると共に事業の理解・協力者の獲得をはかる。

### ウ-3 研究・啓発事業

-1 発達障害医学セミナーを集合研修にて開催する。

テーマ：未定

日程：1月調整

場所：青山学院大学

定員：100名

-2 (1) 発達障害自閉症セミナーを集合研修にて開催する。

テーマ：共生社会の実現を目指した自閉症支援を考える  
～自閉症支援のコアスキルを学ぶには～

日程：2023年7月29、30日（土、日）

場所：北とぴあ（東京都北区）

定員：100名

(2) 発達障害児・家族に関わる支援者を伸ばす実践セミナーを集合研修にて開催する。

テーマ：未定（全体研修1日、テーマ別2研修開催。7月と12月の2回開催）

日程：2023年7月8、9日（土、日）と12月9、10（土、日）で調整

場所：北とぴあ（東京都北区）

定員：各日程100名

### ウ-4調査、資料収集、研究事業

厚生労働省 障害者総合福祉推進事業の受託

### ウ-5事務所賃貸事業

本連盟と同様の目的で活動する非営利団体に事務所および会議室を賃貸する。

## その他の活動

### 組織の運営・強化

- (1) 正会員の拡大
- (2) 準会員の拡大
- (3) 賛助会員の拡大 ※別紙拡大案資料
- (4) 寄付金獲得

新しい時代に合った資金獲得手段（クラウドファンディングなど）を活用し、連盟の強みを生かした事業を計画し、賛同者と資金獲得を目指していく。また、連盟の事業を企業などに周知し、事業などに対する寄付獲得する。

- (5) 委員会の設置

事業運営を円滑に行う為に委員会を設置し、事業の内容の検討を行う。

- (6) 総会・理事会の開催

6月に令和4年度決算についての理事会・総会を実施する。また、3月に令和6年度予算理事会を実施する。